

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	一般財団法人 厚生会		
事業所の名称	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区広瀬町4-15		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>当会は、地球環境の保全に貢献するため、以下の基本方針に基づきエネルギー使用量等の削減に努めます。</p> <p><b>【基本方針】</b></p> <p>1.事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全に取り組めます。</p> <p>2.事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。</p> <p>3.環境保全に関連する法規制を遵守します。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	4,172 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.0163
	目標年度	2022 年度	目標排出量	4,046 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.01581
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	4,231 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01739
			削減率	-1.42 %	削減率	-6.69 %
	排出量等の増減理由	緊急手術の増加等により高圧蒸気滅菌装置の稼働時間が増加し重油の使用量が増加、また、近年の気温上昇の影響により空調機器の稼働時間が増加し、電気の使用量が増加したため。				
	第2年度	2021 年度	排出量	4,404 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01752
			削減率	-5.57 %	削減率	-7.49 %
	排出量等の増減理由	前年と比較し手術件数及び患者数が増加したことにより、ボイラーの稼働率、空調稼働率が上がり重油、電気使用量が増加したと考えられる。				
	第3年度	2022 年度	排出量	4,341 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.01696
			削減率	-4.06 %	削減率	-4.05 %
排出量等の増減理由	基準年度と比較しLPガス、都市ガス、電力使用量(昼間買電、夜間買電)の値はほぼ同じA重油の値が年間で52klの増となっている。要因として2019年度は冷却塔(2台中1台)の故障により1台で運用していたが、その後修理し2台での運用となったこと。また、手術件数の増加により蒸気ボイラーの稼働時間が増加したことが考えられる。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	70 %	目標年度	100 %
	第1年度	67 %	実施状況の説明等	計画書に基づき実施できている。
	第2年度	85 %	実施状況の説明等	5の1(基本対策)番号20~22を基準年度では「非該当」としておりましたがあらためて該当部門に確認した結果、実施していたため「実施済」と入力致しました。
	第3年度	85 %	実施状況の説明等	特になし。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
	外気冷房		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		未実施
	再熱除湿運転回避		未実施
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		一部実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	変圧器の負荷率管理		未実施
	デマンド管理		実施済
負荷平準化		未実施	
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	外出時に自転車を利用する。	実施済